

代表 2

受 令和 8 年 2 月 19 日
付 (午前)・午後 9 時 00 分

一般質問 (代表) 個人 通告書

令和8年2月19日

尾張旭市議会議長 殿

氏名 早川八郎

尾張旭市議会会議規則第50条第1項の規定により3月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 11 件

2 質問方法

	1回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項 (大項目) ごとに一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1回目から 質問事項 (大項目) ごとに一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質問事項 No. <u>1</u>	「足下に泉あり」から問う市政運営について
要 旨	<p>市長は広報誌のコラムにて「足下に泉あり」という言葉を引用され、遠くに理想を求めるだけでなく、今ある足元の資源や市民の声にこそ、まちづくりの真理があるという決意を綴られた。</p> <p>そこで、この「足下に泉あり」を具体的にどのような施策として展開していき、市政運営へとつなげていくのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>2</u>	人口問題対策への展開について
要 旨	<p>都心へのアクセスの良さや豊かな自然環境といった、本市が既に持つ「足下の泉」を広げていき、その魅力を市内外に発信していくことが、選ばれるまちづくりの根幹と考える。</p> <p>そこで、今後の人口減少社会を見据え、既存の地域の強み・若年層の定住促進・子育て環境の充実などをどのようにつなげていくのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>3</u>	第3次健康あさひ21計画の推進について
要 旨	<p>現在、進められている「第3次健康あさひ21計画」は、この10年の健康づくりの指針となる極めて重要な計画と考えるが、市長はこの「足下の泉」である市民の健康を更に豊かに湧き出させるために、この計画においてどのような独自性を打ち出し、誰一人取り残さない健康づくりを展開されるのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>4</u>	新たな歳入確保「稼ぐ！プロジェクト」が描く未来について
要 旨	<p>今回始動したタスクフォース「稼ぐ！プロジェクト」は、本市に眠る「足下の資源」を磨き上げ、新たな財源という泉を自ら掘り当てる、極めて意欲的な挑戦であると考えている。</p> <p>そこで、このプロジェクトによって生み出された財源を、将来どのような市民サービスの向上や投資へと還元していくのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質 問 事 項 No. <u>5</u>	デマンド交通の実証実験と今後の展開について
要 旨	<p>高齢化が進む本市において、市民が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには、移動手段の確保が不可欠である。</p> <p>現在進められているデマンドタクシーの実証実験は、外出しづらくなった高齢者の方々にとって、社会とつながる重要な取組と考える。</p> <p>そこで、今回の実証実験で得られたものを、今後どのように「持続可能な公共交通」へとつなげていくのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>6</u>	三郷駅周辺まちづくり事業と具体的な未来像について
要 旨	<p>本市の東の玄関口である三郷駅周辺において、駅前広場の整備や再開発事業を推し進めることは、長年親しまれてきた地域の歴史という観点からも、新たなにぎわいと交流という歴史的な転換点になることを期待している。</p> <p>そこで、ハード面の整備を経て、具体的にどのような風景や活気がそこに出現するのか、市長が描く「三郷駅周辺の具体的な未来像」を伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>7</u>	平子町北地内市有地の有効活用とサウンディング型市場調査について
要 旨	<p>現在、進められている平子町北地内市有地における「サウンディング型市場調査」は、まさに長年活用が待たれていた本市の資産を民間という新たな知恵によって湧き出させる重要なプロセスであると考えている。</p> <p>そこで、今回の調査を通じ、民間事業者の自由な発想をどのように本市の活性化へと結び付け、地域に恩恵をもたらす考えなのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>8</u>	企業誘致における環境保全との両立について
要 旨	<p>持続可能な市政運営のためには、新たな歳入確保や雇用の創出といった企業誘致は一つの手段と考える。しかし同時に、多くの市民が愛する良好な住環境や自然を守ることも、将来世代に対する我々の重大な責務である。</p> <p>そこで、市長は、豊かな環境を「破壊することなく」経済的な「市民の暮らしの安定」を実現するという、この難しい課題に対し、どのような考えなのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

